

近藤忍後援会 2013 年活動報告書

発行責任者
後援会長 江野澤政広



2013 年も、後援会にご理解とご協力を賜り有り難うございました。
近藤忍も 7 年目となる議員活動を行う中で、昨年の春より木更津市農業協同組合の理事を務めるなど、活躍の幅をますます広げてまいりました。
旧年中の報告は年始早々に送るべきものでありましたが、2014 年 3 月に告示される木更津市長選挙に対する近藤忍の考えを明らかにした活動報告としたため、例年より一月ほど遅れたことをご容赦願います。

後援会長 江野澤政広

1. 定例議会での活動報告

近藤忍は、3 月定例議会を除いた 3 回の定例議会で個人質問を行いました。質問の概要は次の通りです。

6 月定例議会：「広域行政の推進等」

2002 年に行われた『かずさ四市合併を考える署名運動』から 11 年が経過した中、水越市長が前回の選挙で合併を公約に掲げながらも、近隣市の理解が得られずに具体的な進捗が無い現状を踏まえ、合併が難しい状況でも効率的で力強い行政運営のため広域行政を推進するべきだと考え、質問を行いました。観光や都市計画、ゴミ収集処理など多く事業について広域化を進める手段として広域連合制度の研究も必要と考えています。

また、この 4 月から債権管理の一元化の試行が始まりましたのでそれに関する質問も行いました。収税に関する組織を強化し、業務範囲を広げることで、市税を始め、様々な公金を悪質に滞納している者へ対策を行い、市民の税負担の公平性を堅持すべきであると考えています。

9 月定例議会：「都市計画の諸課題等」

都市計画道路中野畑沢線は陸上自衛隊近くの水路の移設で多大な時間と事業費を使うことになりましたが、このように都市計画決定されている道路の中には、計画を見直すことで事業費が削減できるものが多く見つかります。9 月議会ではその具体例を幾つか挙げて問題点を解りやすくし、都市計画全体の見直しを行うべきと考え、質問を行いました。

他にも防災対策を念頭に都市計画の見直しや建築制限を検討すべきではという質問や、津波避難公園の設置、老朽橋梁の長寿命化の進め方、農業従事者が減る中での用排水路の維持の問題点など、社会資本に関しても多くの質問をしました。



12 月定例議会：「本市の財政削減政策」

新庁舎の建設が具体的に進められていく中で、財政削減についても引き続き努力していくことが必要だと考え、国民健康保険特別会計の支出抑制や税収強化、市立保育園の積極的な民営化の推進、学校給食制度の合理化によるコスト削減、屎尿処理施設である新川園の今後の更新に際して下水道施設との統合や広域化の検討の必要性など具体的な 4 項目をあげ、市の取り組み対して質問を行いました。

金田に大型商業施設が続々と進出し、築地でイオンの建築が着工され、人口は増加を続けるなど財政面でも明るい話題は続きますが、それでも行政改革を進めることで、社会資本の更新費用を捻出し、多くの市民サービスに応えることが可能になると考えています。

※ 議会質問の全文は近藤忍の HP [<http://sinobu.com/situmon/sindex.html>] と
木更津市議会の HP [<http://asp.db-search.com/kisarazu-c/>] で読むことができます。
また 2013 年 6 月以降の質問は、市でインターネット配信 [<http://www.kisarazu-city.stream.jfit.co.jp/>] を始めました。

2. 委員会や議会内における活動報告

建設常任委員会の委員長としては、地方分権の中で木更津市が独自に基準を定める項目も増えたため、関連する条例整備を進めました。また、四市の水道事業を統合することが合意され、それに向けた検討が今後必要となります。昨年から引き続き事案としては、橋梁・公園・市営住宅・下水道等の社会資本の長寿化計画の推進、請西千束台の区画整理の問題などを検討しております。また10月には松江市の空き家対策、三次市の水道事業民間委託の現状、出雲市の景観形成などを視察してきました。

議員全員で構成される**市庁舎整備特別委員会**では副委員長として、新市役所に求められる機能、建設や契約の手法、今後の行程等についての議論を行ってまいり、2014年2月7日が入札参加表明書の受付日となりました。また、先進事例として7月には福生市と町田市の新市役所を視察してきました。

基地対策特別委員会では、引き続き基地問題と江川総合運動公園の拡張事業及び防災拠点の整備に取り組んでおります。市役所の基地対策の取り組みの事例として10月には佐世保市役所を視察してきました。

決算審査特別委員会では5年連続して委員となり、3日間の集中審議の中で、事業の有り方や費用対効果の問題、今後の取り組み方などについて多くの質疑や意見を述べてまいりました。

同期当選の7名による**十九の会**では矢那に建設されたメガソーラーの視察を行うなど勉強会をしております。議会選出の**農業委員会**の委員としても多くの研修会と毎月の総会に出席し、課題に取り組んでおります。



会派羅針盤としては、会派の議員の間で積極的な意見交換や切磋琢磨を行う中で、1月に上田市で地域内分権と広域連合制度、松本市で健康寿命延伸都市と議会改革、立川市で市役所建設事業を視察し、8月には豊川市でシティセールス事業、伊勢市で景観計画とまちなみ保全事業、亀山市で債権対策と行政サービスの制限等を視察してきました。会派としての取り組みは「会派報」として元旦に新聞折込もさせていただきました。



3. 地域等における活動報告

巖根駅に快速電車を止めよう！推進協議会の事務局長として、多くの役員の皆様とともにJR千葉支社に対し5月13日に3回目の要望活動を行ってまいりました。駅前広場は2014年3月頃から工事が始まりますが、快速停止については引き続き関係部局と折衝が必要な状況です。

地域では、岩根地区の文化祭は台風で中止となりましたが、様々な総会や行事に参加し、意見交換をしました。春の小櫃川さくら祭りや夏のアカデミア音楽コンクール、秋の矢那川彼岸花移植などでもスタッフとして活動しました。また、3月から**木更津市農業協働組合**の理事として、農協業務や農政について取り組んでいます。

4. 2014年の課題

金田や築地で大型商業施設の増床や新設が続きますし、市庁舎は新築に向け新たな段階になります。このように木更津市が更に先に進む「舵取り役」となる**市長を決める選挙が3月23日にあります**。複数の候補者が名乗り出ておりますが、その政策内容はもちろん、各種ボランティアでの活動、県議会議員時代の実績、そして個人的に24年を越える交友から知る人柄を考えると、**渡邊芳邦**県議が市長に相応しいと近藤忍は考えます。

5. 後援会の案内と入会のお誘い

年賀状ならびに年始の挨拶状を近藤忍本人から郵送することは、公職選挙法違反となるため、本年も昨年と同様に後援会より会員の皆様に対して近藤忍の活動報告をさせていただきました。本書が届くことにお心当たりのない方は、恐れ入りますが下記までその旨をご連絡下さい。

また、近隣や知人で近藤忍後援会へ入会を希望される方が居られましたら、氏名、住所、電話番号等をお知らせ下さい。連絡は後援会事務所を直接訪問戴くか、郵送・電話報告、FAX、メール等の方法にてお願いします。

住所 木更津市江川 847 : TEL 0438-41-1605 : FAX 0438-41-1606 : メール info@sinobu.com